

平成23年4月吉日

郡市PTA連合会 会長様

各単位PTA 会長様

山口県 PTA 連合会

会長 富川芳人

東日本大震災義援金のお礼と今後のお願い

春暖の候、貴 PTA におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、山口県 PTA 連合会の活動に、ご理解とご協力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。

さて、3月11日に発生しました大地震は、岩手県、宮城県、福島県を中心に、多くの被害をもたらせたことはご承知のとおりです。それに伴い皆様には義援金のお願いをいたしましたところ、4月11日現在、246校の PTA より 10,780,051 円という大きな金額を集めることができました。やっと受け入れの窓口ができましたので、現在協議をして、3県の PTA 連合会（岩手県 P 連・宮城県 P 連・福島県 P 連）と仙台市 P 協議会に郵送の準備を進めているところです。

先日、山口県 P 連では、第2弾として文房具の収集をしようと協議をいたしました。しかし4月9日に京都で日本 PTA 協議会の教育問題委員会が開催された折出席された、福島県 PTA 連合会の佐藤会長からは、「物資はほぼ整ってきており、余剰になってきている物もあり、子どもたちの把握もなかなか進まないが、学年により使用するものが違うなどから、出来れば義援金の形でお願いしたい」とのことでした。そして、「可能な限りこれで終わるのではなく、長期的に支援をしてほしい」とのことでした。福島県は原発の事故による放射の汚染がひどく、子どもたちを登校させていいのかさえ基準が定まらず、毎日各所を計測して安全を確かめている状態ですが、その計測器すら配布されていないところもあり、大変心配されていました。

山口県 PTA 連合会では、直接現地の子どもたちのためになる今後の活動として、引き続き義援金活動を行っていきたいと思います。皆様にはご迷惑をおかけしますが、募金活動やバザー、書き損じはがきの換金、廃品回収などの収益の一部でもご協力いただければ、今年度の事業の一つとして送り届けたいと考えています。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。